

「特別収益前倒し（E R A）融資」に関するG 7首脳声明（仮訳）

2024年10月25日

本日、我々G 7首脳は、ウクライナに対する「特別収益前倒し（E R A）融資」の中で約500億米ドルをどのように提供するかについてコンセンサスに達した。

この融資は、G 7それぞれの法制度及び国際法に沿って、ロシアの国家が有する資産が動かせないようになっていることに起因する、将来の特別な収益のフローにより利払いされ返済される。融資資金は、全ての適用可能な法令及びG 7メンバーそれぞれの法制度と整合的な形で、ウクライナの財政、軍事及び復興支援をサポートするための複数のチャネルを通じて拠出される。我々の目標は、本年末までに資金拠出を開始することである。

我々は、G 7各国間の一貫性、連携、公平な融資の割合及び連帯を確保するための技術的な解決策に関して同意した財務大臣による、G 7首脳のこの歴史的決定の時宜を得た実施に対し、最大限の謝意を表明する。我々は、この目覚ましい成果に向けた欧州連合（E U）とその加盟国の建設的な関与に特に感謝する。

本日の発表は、6月のG 7プーリア・サミットで行ったコミットメントを、G 7が果たすことを確認する。ロシアの違法でいわれのない侵略は、ウクライナの人々及びグローバルな平和と安全に対して数え切れない損害を生み出している。我々は、ウクライナが勝利のために必要とする支援を提供することへの我々の決意を緩めることはない。ロシアはその違法な侵略戦争を終結させ、国際法に沿って、自らが生じさせた損害に対して支払いを行わなければならない。

G 7は、ウクライナの自由のための闘い及びその復旧・復興を支援するために、その連帯を堅持し続ける。喫緊のニーズを満たすためのE R A融資からの多額の資金により、我々は、必要とされる限り、ウクライナと共にあることへの我々の揺るぎないコミットメントを改めて明確にした。時間はプーチン大統領の側にはない。

（了）